

- F42A 心臓の侵襲的調査処置を用いた、急性心筋梗塞を伴わない循環器疾患(複雑な診断/処置を伴う場合)
- F42B 心臓の侵襲的調査処置を用いた、急性心筋梗塞を伴わない循環器疾患(複雑な診断/処置を伴わない場合)
- F60A 心臓の侵襲的調査処置を用いない、急性心筋梗塞を伴う循環器疾患(致命的・重症の合併症/共存症を伴う場合)
- F60B 心臓の侵襲的調査処置を用いない、急性心筋梗塞を伴う循環器疾患(致命的・重症の合併症/共存症を伴わない場合)
- F60C 心臓の侵襲的調査処置を用いない、急性心筋梗塞を伴う循環器疾患(死亡)
- F61Z 感染性心内膜炎
- F62A 致命的・重症の合併症/共存症を伴う、心不全およびショック
- F62B 致命的・重症の合併症/共存症を伴わない、心不全およびショック
- F63A 致命的・重症の合併症/共存症を伴う、静脈血栓症
- F63B 致命的・重症の合併症/共存症を伴わない、静脈血栓症
- F64Z 循環器疾患による皮膚潰瘍
- F65A 致命的・重症の合併症/共存症を伴う、末梢血管疾患
- F65B 致命的・重症の合併症/共存症を伴わない、末梢血管疾患
- F66A 合併症/共存症を伴う、冠動脈硬化症
- F66B 合併症/共存症を伴わない、冠動脈硬化症
- F67A 合併症/共存症を伴う、高血圧
- F67B 合併症/共存症を伴わない、高血圧
- F68Z 先天性心疾患
- F69A 致命的・重症の合併症/共存症を伴う、弁膜症
- F69B 致命的・重症の合併症/共存症を伴わない、弁膜症
- F70A 致命的・重症の合併症/共存症を伴う、主要な不整脈および心停止
- F70B 致命的・重症の合併症/共存症を伴わない、主要な不整脈および心停止
- F71A 致命的・重症の合併症/共存症を伴う、不整脈および伝導障害
- F71B 致命的・重症の合併症/共存症を伴わない、不整脈および伝導障害
- F72A 致命的・重症の合併症/共存症を伴う、不安定狭心症
- F72B 致命的・重症の合併症/共存症を伴わない、不安定狭心症
- F73A 致命的・重症の合併症/共存症を伴う、失神および循環虚脱
- F73B 致命的・重症の合併症/共存症を伴わない、失神および循環虚脱
- F74Z 胸痛
- F75A 致命的合併症/共存症を伴う、その他の循環器システムの診断
- F75B 重症合併症/共存症を伴う、その他の循環器システムの診断
- F75C 致命的—重症合併症/共存症を伴わない、その他の循環器システムの診断
- G01A 致命的合併症/共存症を伴う、直腸切除術
- G01B 致命的合併症/共存症を伴わない、直腸切除術
- G02A 致命的合併症/共存症を伴う、主要な大腸小腸の処置
- G02B 致命的合併症/共存症を伴わない、主要な大腸小腸の処置
- G03A 悪性疾患を伴う、胃、食道、十二指腸の処置
- G03B 悪性疾患を伴わない、胃、食道、十二指腸の処置(致命的・重症の合併症/共存症を伴う場合)
- G03C 悪性疾患を伴わない、胃、食道、十二指腸の処置(致命的・重症の合併症/共存症を伴わない場合)

- 共存症を伴わない場合)
- G04A 腹膜癒着剥離(>49才で合併症/共存症を伴う)
 - G04B 腹膜癒着剥離(<50才で合併症/共存症を伴う、または、>49才で合併症/共存症を伴わない)
 - G04C 腹膜癒着剥離(<50才で合併症/共存症を伴わない)
 - G05A 合併症/共存症を伴う、小腸大腸の処置
 - G05B 合併症/共存症を伴わない、小腸大腸の処置
 - G06Z 幽門筋切開術
 - G07A 致命的—重症合併症/共存症を伴う、虫垂切除術
 - G07B 致命的—重症合併症/共存症を伴わない、虫垂切除術
 - G08Z 腹部、臍部、および、その他のヘルニアの処置(>0才)
 - G09Z ソ径、大腿ヘルニアの処置(>0才)
 - G10Z ヘルニア処置(<1才)
 - G11A 致命的—重症合併症/共存症を伴う、肛門およびストーマの処置
 - G11B 致命的—重症合併症/共存症を伴わない、肛門およびストーマの処置
 - G12A その他、消化器システムの手術室での処置(カテーテルを用いた、または、重症合併症/共存症、または、悪性疾患を伴う場合)
 - G12B その他、消化器システムの手術室での処置(カテーテルを用いない、または、重症合併症/共存症、または、悪性疾患を伴わない場合)
 - G40A 主要な消化器疾患に対する、複雑な治療的胃内視鏡処置(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
 - G40B 主要な消化器疾患に対する、複雑な治療的胃内視鏡処置(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - G41A 消化器疾患に対する、複雑な治療的胃内視鏡処置
 - G41B 同日に施行した、消化器疾患に対する複雑な治療的胃内視鏡処置
 - G42A 主要な消化器疾患に対する、その他の胃内視鏡
 - G42B 同日施行した、主要な消化器疾患に対する、その他の胃内視鏡
 - G43Z 複雑な治療的大腸内視鏡
 - G44A その他の大腸内視鏡(致死的—重症合併症/共存症、または、複雑な処置を伴う場合)
 - G44B その他の大腸内視鏡(致死的—重症合併症/共存症、または、複雑な処置を伴わない場合)
 - G44C 同日施行した、その他の大腸内視鏡
 - G45A 消化器疾患に対する、その他の胃内視鏡
 - G45B 同日施行した、消化器疾患に対する、その他の胃内視鏡
 - G60A 致死的—重症合併症/共存症を伴う、消化器悪性疾患
 - G60B 致死的—重症合併症/共存症を伴わない、消化器悪性疾患
 - G61A 消化器出血(<65才で致死的—重症合併症/共存症を伴う場合、または、>64才)
 - G61B 消化器出血(<65才で致死的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - G62Z 複雑消化性潰瘍
 - G63Z 非複雑消化性潰瘍
 - G64Z 炎症性腸疾患
 - G65A 合併症/共存症を伴う腸管閉塞

- G65B 合併症/共存症を伴わない腸管閉塞
- G66A 合併症/共存症を伴う、腹痛または腸間膜腺炎
- G66B 合併症/共存症を伴わない、腹痛または腸間膜腺炎
- G67A 食道炎・胃炎・様々な消化器疾患(年齢>9歳で致命的合併症/共存症を伴う場合)
- G67B 食道炎・胃炎・様々な消化器疾患(年齢>9歳で致命的合併症/共存症を伴わない場合)
- G68A 胃腸炎(<10才で合併症/共存症を伴う)
- G68B 胃腸炎(<10才で合併症/共存症を伴わない)
- G69Z 食道炎・様々な消化器疾患(年齢>10歳の場合)
- G70A その他の消化器系診断(合併症/共存症を伴う)
- G70B その他の消化器系診断(合併症/共存症を伴わない)
- H01A 膵臓、肝臓、および、シャント処置(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- H01B 膵臓、肝臓、および、シャント処置(重度・中等度合併症/共存症を伴う場合)
- H01C 膵臓、肝臓、および、シャント処置(合併症/共存症を伴わない場合)
- H02A 胆道系に対する主要な処置(悪性疾患)
- H02B 胆道系に対する主要な処置(悪性疾患がなく、致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- H02C 胆道系に対する主要な処置(悪性疾患がなく、致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- H03A 閉鎖式総胆管診査を使った胆嚢摘出術(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- H03B 閉鎖式総胆管診査を使った胆嚢摘出術(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- H04A 閉鎖式総胆管診査を使用しない胆嚢摘出術(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- H04B 閉鎖式総胆管診査を使用しない胆嚢摘出術(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- H05A 肝臓胆道系の診断的処置(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- H05B 肝臓胆道系の診断的処置(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- H06Z その他の肝胆膵系の手術室での処置
- H40Z 出血性食道静脈瘤に対する内視鏡的処置
- H41A 内視鏡的逆行性胆道膵管造影、複雑な治療的処置(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- H41B 内視鏡的逆行性胆道膵管造影、複雑な治療的処置(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- H42A 内視鏡的逆行性胆道膵管造影、その他の治療的処置(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- H42B 内視鏡的逆行性胆道膵管造影、その他の治療的処置(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- H60A 肝硬変、およびアルコール性肝炎(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- H60B 肝硬変、およびアルコール性肝炎(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- H60C 肝硬変、およびアルコール性肝炎(致命的—重症合併症/共存症を伴わない)

- 場合)
- H61A 肝胆膵系の悪性疾患(>69才、致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
 - H61B 肝胆膵系の悪性疾患(<70才で致命的—重症合併症/共存症を伴う場合、または、>69才、致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - H61C 肝胆膵系の悪性疾患(<70才、致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - H62A 悪性疾患を除く膵臓疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - H62B 悪性疾患を除く膵臓疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - H63A 悪性疾患、肝硬変、アルコール性肝炎を除く、肝臓疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - H63B 悪性疾患、肝硬変、アルコール性肝炎を除く、肝臓疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - H64A 合併症/共存症を伴う、胆道系の疾患
 - H64B 合併症/共存症を伴わない、胆道系の疾患
 - I01Z 下肢の両側、または多発性主要関節の処置
 - I02A 手を除く、微小血管組織の転移または、皮膚グラフト(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - I02B 手を除く、皮膚グラフト(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I03A 股関節の修正(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - I03B 股関節置換術(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)または、股関節の修正(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I03C 股関節置換術(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I04A 膝関節置換術および再固定(致命的合併症/共存症を伴う場合)
 - I04B 膝関節置換術および再固定(致命的合併症/共存症を伴わない場合)
 - I05Z その他の関節置換術および四肢再付着処置(致命的合併症/共存症を伴う場合)
 - I06Z 変形を伴う脊椎固定
 - I07Z 切断術
 - I08A その他の股関節、大腿骨の処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - I08B その他の股関節、大腿骨の処置(>54才、致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I08C その他の股関節、大腿骨の処置(<55才、致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I09A 致命的・重症合併症/共存症を伴う、脊椎固定
 - I09B 致命的・重症合併症/共存症を伴わない、脊椎固定
 - I10A その他の背部、頸部の処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - I10B その他の背部、頸部の処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I11Z 四肢延長処置
 - I12A 骨格筋、結合組織を含む骨、および関節の感染/炎症に対する処置(致命的合併症/共存症を伴う場合)
 - I12B 骨格筋、結合組織を含む骨、および関節の感染/炎症に対する処置(重症合併症/共存症を伴う場合)
 - I12C 骨格筋、結合組織を含む骨、および関節の感染/炎症に対する処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)

- I13A 上腕骨、脛骨、腓骨、および距骨の処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- I13B 上腕骨、脛骨、腓骨、および距骨の処置(>59才、致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- I13C 上腕骨、脛骨、腓骨、および距骨の処置(<60才、致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- I14Z 断端修復
- I15Z 頭蓋骨、顔面骨の手術
- I16Z その他の肩の処置
- I17Z 上顎骨、顔面骨の手術
- I18Z 膝の処置
- I19Z その他の肘、前腕の処置
- I20Z 足の処置
- I21Z 局所切除、および股関節、大腿骨の内固定デバイスの除去
- I22Z 手根、手、母指の主要な処置
- I23Z 局所切除、および、股関節、大腿骨以外の内固定デバイスの除去
- I24Z 関節鏡検査
- I25Z 骨、関節の、生検を含む診断的処置
- I26Z その他の手根、手の処置
- I27Z 軟部組織の処置
- I28A 結合組織のその他の処置(合併症/共存症を伴う場合)
- I28B 結合組織のその他の処置(合併症/共存症を伴わない場合)
- I60Z 大腿骨幹および大腿骨顆開放骨折
- I61Z その他の大腿骨骨折
- I62A 骨盤および大腿骨頸部骨折(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- I62B 骨盤および大腿骨頸部骨折(重症合併症/共存症を伴う場合)
- I62C 骨盤および大腿骨頸部骨折(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- I63Z 股関節、骨盤、大腿の捻挫、挫傷、脱臼
- I64A 骨髄炎(<65才で致命的・重症合併症/共存症を伴う場合、または、>64才)
- I64B 骨髄炎(<65才で致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- I65A 病的骨折を含む、結合組織悪性疾患(>64才)
- I65B 病的骨折を含む、結合組織悪性疾患(<65才)
- I66A その他の結合組織疾患(<65才で致命的・重症合併症/共存症を伴う場合、または、>64才)
- I66B その他の結合組織疾患(<65才で致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- I67A 敗血症性関節炎(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- I67B 敗血症性関節炎(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- I68A 疼痛管理処置/ミエログラムを用いた非外科的頸部、背部の状態(<75才で重症合併症/共存症を伴う場合、または、>74才)
- I68B 疼痛管理処置/ミエログラムを用いた非外科的頸部、背部の状態(<75才で重症合併症/共存症を伴わない場合)
- I68C 疼痛管理処置/ミエログラムを用いた非外科的頸部、背部の状態
- I69A 骨疾患および特異的関節症(>74才で致命的・重症合併症/共存症を伴う場

- 合)。
- I69B 骨疾患および特異的関節症(>74才で致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I69C 骨疾患および特異的関節症(<75才)
 - I70Z 非特異的関節症
 - I71A 筋腱の疾患(>69才で合併症/共存症を伴う場合)
 - I71B 筋腱の疾患(<70才で合併症/共存症を伴う場合、または、>69才で合併症/共存症を伴わない場合)
 - I71C 筋腱の疾患(<70才で合併症/共存症を伴わない場合)
 - I72A 腱炎、筋炎、滑液包炎(<80才で致命的・重症合併症/共存症を伴う場合、または、>79才)
 - I72B 腱炎、筋炎、滑液包炎(<80才で致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I73A 結合組織病のアフターケア(>59才で致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - I73B 結合組織病のアフターケア(<60才で致命的・重症合併症/共存症を伴う場合、または、>59才で致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I73C 結合組織病のアフターケア(<60才で致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - I74A 前腕、手根、手、または足の傷害(>74才で合併症/共存症を伴う場合)
 - I74B 前腕、手根、手、または足の傷害(<75才で合併症/共存症を伴う場合、または、>74才で合併症/共存症を伴わない場合)
 - I74C 前腕、手根、手、または足の傷害(<75才で合併症/共存症を伴わない場合)
 - I75A 肩、上腕、肘、膝、脚、距骨の傷害(>64才で合併症/共存症を伴う場合)
 - I75B 肩、上腕、肘、膝、脚、距骨の傷害(<65才で合併症/共存症を伴う場合、または、>64才で合併症/共存症を伴わない場合)
 - I75C 肩、上腕、肘、膝、脚、距骨の傷害(<65才で合併症/共存症を伴わない場合)
 - I76A その他の結合組織疾患(>69才で合併症/共存症を伴う場合)
 - I76B その他の結合組織疾患(<70才で合併症/共存症を伴う場合、または、>69才で合併症/共存症を伴わない場合)
 - I76C その他の結合組織疾患(<70才で合併症/共存症を伴わない場合)
 - J01Z 皮膚、皮下組織、および、乳房疾患に対する微小血管組織の移植
 - J02A 潰瘍/蜂巣炎を合併した、皮膚グラフト/皮弁修復を行った下肢(致命的合併症/共存症を伴う場合)
 - J02B 潰瘍/蜂巣炎を合併した、皮膚グラフト/皮弁修復を行った下肢(致命的合併症/共存症を伴わない場合)
 - J03A 潰瘍/蜂巣炎を合併しない、皮膚グラフト/皮弁修復を行った下肢(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - J03B 潰瘍/蜂巣炎を合併しない、皮膚グラフト/皮弁修復を行った下肢(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - J04A 潰瘍/蜂巣炎を合併した、皮膚グラフト/皮弁修復を行っていない下肢(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)

- J04B 潰瘍/蜂巣炎を合併した、皮膚グラフト/皮弁修復を行っていない下肢(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- J05Z 潰瘍/蜂巣炎を合併しない、皮膚グラフト/皮弁修復を行っていない、その他の手術室処置を受けた下肢(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- J06A 胸部の悪性コンディションに対する主要な処置
- J06B 胸部の非悪性コンディションに対する主要な処置
- J07A 胸部の悪性コンディションに対する minor な処置
- J07B 胸部の非悪性コンディションに対する minor な処置
- J08A その他の皮膚グラフトおよび/またはデブリ・ドメント処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- J08B その他の皮膚グラフトおよび/またはデブリ・ドメント処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- J09Z 肛門周囲および毛巣の処置
- J10Z 皮膚、皮下組織、および乳房形成の手術室での処置
- J11Z 皮膚、皮下組織、および乳房形成のその他の処置
- J60A 皮膚潰瘍(>64才)
- J60B 皮膚潰瘍(<65才)
- J61Z 重症皮膚疾患
- J62A 悪性乳房疾患(>69才、合併症/共存症を伴う場合)
- J62B 悪性乳房疾患(<70才で合併症/共存症を伴う場合、または、>69才で合併症/共存症を伴わない場合)
- J62C 悪性乳房疾患(<70才で合併症/共存症を伴わない場合)
- J63Z 非悪性乳房疾患
- J64A 蜂巣炎(>59才、致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- J64B 蜂巣炎(>59才で致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合、または、<60才)
- J65A 皮膚、皮下組織、および乳房の外傷(>69才)
- J65B 皮膚、皮下組織、および乳房の外傷(<70才)
- J66A 中等症の皮膚疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- J66B 中等症の皮膚疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- J67A minor な皮膚疾患(合併症/共存症を伴う場合)
- J67B minor な皮膚疾患(合併症/共存症を伴わない場合)
- K01Z 糖尿病の足
- K02Z 下垂体の処置
- K03Z 副腎の処置
- K04Z 肥満に対する主要な処置
- K05Z 副甲状腺の処置
- K06Z 甲状腺の処置
- K07Z 肥満処置
- K08Z 甲状舌の処置
- K09Z その他の、内分泌、栄養、および代謝の手術室での処置
- K40Z 合併症/共存症を伴わない代謝性疾患に対する、内視鏡的または調査的処置
- K60A 糖尿病(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)

- K60B 糖尿病(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- K61Z 重症の栄養障害
- K62A 種々の代謝性疾患(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- K62B 種々の代謝性疾患(重症合併症/共存症を伴う場合、または、>74才で重症合併症/共存症を伴わない場合)
- K62C 種々の代謝性疾患(<75才で致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- K63Z 先天性代謝異常
- K64A 内分泌異常(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- K64B 内分泌異常(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L01A 腎臓移植(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- L01B 腎臓移植(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L02Z 透析のための手術による腹膜カテーテルの挿入
- L03A 腎臓、尿管、および膀胱の新生物に対する処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- L03B 腎臓、尿管、および膀胱の新生物に対する処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L04A 腎臓、尿管、および膀胱の非新生物に対する処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- L04B 腎臓、尿管、および膀胱の非新生物に対する処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L05A 経尿道的前立腺切除術(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- L05B 経尿道的前立腺切除術(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L06A 膀胱の minor な処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- L06B 膀胱の minor な処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L07A 前立腺切除術以外の経尿道的処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- L07B 前立腺切除術以外の経尿道的処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L08A 尿道の処置(合併症/共存症を伴う場合)
- L08B 尿道の処置(合併症/共存症を伴わない場合)
- L09A 腎臓、尿路疾患に対する、その他の処置(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- L09B 腎臓、尿路疾患に対する、その他の処置(重症合併症/共存症を伴う場合)
- L09C 腎臓、尿路疾患に対する、その他の処置(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L40Z 尿管鏡
- L41Z 膀胱尿道鏡(合併症/共存症を伴わない場合)
- L42Z 尿路結石に対する体外衝撃波碎石術
- L60A 腎不全(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- L60B 腎不全(重症合併症/共存症を伴う場合、または、>69才で重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L60C 腎不全(<70才で重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L61Z 腎透析のための入院
- L62A 腎臓、尿路の新生物(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)

- L62B 腎臓、尿路の新生物(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- L63A 腎臓、尿路の感染症(>69才で致命的合併症/共存症を伴う場合)
- L63B 腎臓、尿路の感染症(>69才で致命的合併症/共存症を伴わない場合)
- L63C 腎臓、尿路の感染症(<70才)
- L64Z 尿路結石、閉塞
- L65A 腎臓、尿路の徴候、症状(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- L65B 腎臓、尿路の徴候、症状(致命的合併症/共存症を伴わない場合)
- L66Z 尿道狭窄
- L67A その他の腎臓、尿路の診断(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- L67B その他の腎臓、尿路の診断(重症合併症/共存症を伴う場合)
- L67C その他の腎臓、尿路の診断(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- M01Z 男性における骨盤の主要な処置
- M02A 経尿道的前立腺切除術(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- M02B 経尿道的前立腺切除術(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- M03A 陰茎の処置(合併症/共存症を伴う場合)
- M03B 陰茎の処置(合併症/共存症を伴わない場合)
- M04A 睾丸の処置(合併症/共存症を伴う場合)
- M04B 睾丸の処置(合併症/共存症を伴わない場合)
- M05Z 輪状切開
- M06A その他の男性生殖器系の悪性疾患に対する手術室での処置
- M06B その他の男性生殖器系の悪性疾患以外に対する手術室での処置
- M40Z 膀胱尿道鏡(合併症/共存症を伴わない場合)
- M60A 悪性疾患、男性生殖器系(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- M60B 悪性疾患、男性生殖器系(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- M61A 良性前立腺肥大(致命的—重症合併症/共存症を伴う場合)
- M61B 良性前立腺肥大(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- M62A 男性生殖器系の炎症(合併症/共存症を伴う場合)
- M62B 男性生殖器系の炎症(合併症/共存症を伴わない場合)
- M63Z 不妊手術、男性
- M64Z その他の男性生殖器系の診断
- N01Z 骨盤臓器摘出術および根治的外陰切除術
- N02A 卵巣または付属器の悪性疾患に対する、子宮、付属器の処置(合併症/共存症を伴う場合)
- N02B 卵巣または付属器の悪性疾患に対する、子宮、付属器の処置(合併症/共存症を伴わない場合)
- N03A 卵巣または付属器の悪性疾患以外の、子宮、付属器の処置(合併症/共存症を伴う場合)
- N03B 卵巣または付属器の悪性疾患以外の、子宮、付属器の処置(合併症/共存症を伴わない場合)
- N04Z 非悪性疾患における子宮摘出術
- N05A 非悪性疾患に対する、卵巣摘出術および複雑なファロピウス管の処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- N05B 非悪性疾患に対する、卵巣摘出術および複雑なファロピウス管の処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)

- N06Z 女性の生殖器再建術
- N07Z 非悪性疾患に対する、その他の子宮、付属器の処置
- N08Z 女性の生殖器に対する、内視鏡的処置
- N09Z 子宮円錐切除術、膣、子宮頸部、および外陰部
- N10Z 診断的搔爬術、または、診断的子宮内視鏡
- N11A その他の女性生殖器系に対する手術室での処置(>64才、または、悪性疾患の存在、または、合併症/共存症を伴う場合)
- N11B その他の女性生殖器系に対する手術室での処置(<65才、または、悪性疾患なし、または、合併症/共存症を伴わない場合)
- N60A 悪性疾患、女性生殖器系(致死的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- N60B 悪性疾患、女性生殖器系(致死的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- N61Z 感染症、女性生殖器系
- N62A 月経およびその他の女性生殖器疾患(合併症/共存症を伴う場合)
- N62B 月経およびその他の女性生殖器疾患(合併症/共存症を伴わない場合)
- O01A 多くの複雑な診断を持つ場合の帝王切開、少なくとも1つは重症
- O01B 重症の複雑な診断を持つ場合の帝王切開
- O01C 中等症の複雑な診断を持つ場合の帝王切開
- O01D 複雑な診断を持たない場合の帝王切開
- O02Z 複雑な手術室での処置を伴う、経膣分娩
- O03Z 異所性妊娠
- O04Z 手術室での処置、分娩後、および中絶後
- O40Z 搔爬術又は子宮摘出による中絶(D&Cをともなう場合)
- O60A 多くの複雑な診断を持つ場合の経膣分娩、少なくとも1つは重症
- O60B 重症の複雑な診断を持つ場合の経膣分娩
- O60C 中等症の複雑な診断を持つ場合の経膣分娩
- O60D 複雑な診断を持たない場合の経膣分娩
- O61Z 手術室での処置のない分娩後、および中絶後
- O62Z 切迫流産
- O63Z 搔爬術又は子宮摘出による中絶(D&Cをともなわない場合)
- O64Z 前駆陣痛
- O65A 重症の複雑な診断を伴う、その他の出生前入院
- O65B 中等症の複雑な診断を伴う、または、複雑な診断を伴わない、その他の出生前入院
- P01Z 新生児、手術室での処置を伴う、死亡または<入院5日の転院
- P02Z 新生児に対する心胸部/血管の処置
- P03Z 新生児、入院時体重 1000-1499 g (手術室での処置あり)
- P04Z 新生児、入院時体重 1500-1999 g (手術室での処置あり)
- P05Z 新生児、入院時体重 2000-2449 g (手術室での処置あり)
- P06A 新生児、入院時体重 >2499 g (手術室での処置あり、複数の重要な問題あり)
- P06B 新生児、入院時体重 >2499 g (手術室での処置あり、複数の重要な問題なし)
- P60A 新生児、死亡または<入院5日の転院(手術室での処置なし、当病院での出生)

- P60B 新生児、死亡または入院5日の転院(手術室での処置なし、当病院以外での出生)
- P61Z 新生児、入院時体重<750g
- P62Z 新生児、入院時体重 750-999g
- P63Z 新生児、入院時体重 1000-1249g (手術室での処置なし)
- P64Z 新生児、入院時体重 1250-1499g (手術室での処置なし)
- P65A 新生児、入院時体重 1500-1999g (手術室での処置なし、複数の重要な問題あり)
- P65B 新生児、入院時体重 1500-1999g (手術室での処置なし、重要な問題あり)
- P65C 新生児、入院時体重 1500-1999g (手術室での処置なし、その他の問題あり)
- P65D 新生児、入院時体重 1500-1999g (手術室での処置なし、問題なし)
- P66A 新生児、入院時体重 2000-2499g (手術室での処置なし、複数の重要な問題あり)
- P66B 新生児、入院時体重 2000-2499g (手術室での処置なし、重要な問題あり)
- P66C 新生児、入院時体重 2000-2499g (手術室での処置なし、その他の問題あり)
- P66D 新生児、入院時体重 2000-2499g (手術室での処置なし、問題なし)
- P67A 新生児、入院時体重 >2499g (手術室での処置なし、複数の重要な問題あり)
- P67B 新生児、入院時体重 >2499g (手術室での処置なし、重要な問題あり)
- P67C 新生児、入院時体重 >2499g (手術室での処置なし、その他の問題あり)
- P67D 新生児、入院時体重 >2499g (手術室での処置なし、問題なし)
- Q01Z 脾臓摘出術
- Q02A 血液および造血臓器の、その他の手術室での処置(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- Q02B 血液および造血臓器の、その他の手術室での処置(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- Q60A 網内細胞および免疫疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- Q60B 網内細胞および免疫疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- Q61A 赤血球疾患(致命的合併症/共存症を伴う場合)
- Q61B 赤血球疾患(重症合併症/共存症を伴う場合)
- Q61C 赤血球疾患(致命的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- Q62A 凝固異常(>69才)
- Q62B 凝固異常(<70才)
- R01A 手術室での主要な処置を伴う、リンパ腫および白血病(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- R01B 手術室での主要な処置を伴う、リンパ腫および白血病(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- R02A 手術室での主要な処置を伴う、その他の新生物疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- R02B 手術室での主要な処置を伴う、その他の新生物疾患(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- R03A 手術室でのその他の処置を伴う、リンパ腫および白血病(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- R03B 手術室でのその他の処置を伴う、リンパ腫および白血病(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)

- 症/共存症を伴わない場合)
- R04A 手術室でのその他の処置を伴う、その他の新生物疾患(致死的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- R04B 手術室でのその他の処置を伴う、その他の新生物疾患(致死的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- R60A 急性白血病(致死的合併症/共存症を伴う場合)
- R60B 急性白血病(重症合併症/共存症を伴う場合)
- R60C 急性白血病(致死的—重症合併症/共存症を伴わない場合)
- R61A リンパ腫および非急性白血病(致死的合併症/共存症を伴う場合)
- R61B リンパ腫および非急性白血病(重症合併症/共存症を伴わない場合)
- R61C リンパ腫および非急性白血病、日帰り入院
- R62A その他の新生物疾患(合併症/共存症を伴う場合)
- R62B その他の新生物疾患(合併症/共存症を伴わない場合)
- R63Z 化学療法
- R64Z 放射線療法
- S60Z HIV、日帰り入院
- S61Z HIV 関連中枢神経疾患
- S62Z HIV 関連悪性疾患
- S63A HIV 関連感染症(致死的合併症/共存症を伴う場合)
- S63B HIV 関連感染症(致死的合併症/共存症を伴わない場合)
- S64A その他の HIV(致死的合併症/共存症を伴う場合)
- S64B その他の HIV(致死的合併症/共存症を伴わない場合)
- T01A 感染症および寄生虫疾患に対する手術室での処置(致死的合併症/共存症を伴う場合)
- T01B 感染症および寄生虫疾患に対する手術室での処置(重症・中等症合併症/共存症を伴う場合)
- T01C 感染症および寄生虫疾患に対する手術室での処置(合併症/共存症を伴わない場合)
- T60A 敗血症(致死的または重症合併症/共存症を伴う場合)
- T60B 敗血症(致死的または重症合併症/共存症を伴わない場合)
- T61A 術後および外傷後の感染症(致死的または重症合併症/共存症を伴う場合、または、>54才で致死的または重症合併症/共存症を伴わない場合)
- T61B 術後および外傷後の感染症(<55才で致死的または重症合併症/共存症を伴わない場合)
- T62A 不明熱(合併症/共存症を伴う場合)
- T62B 不明熱(合併症/共存症を伴わない場合)
- T63A ウイルス疾患(>59才)
- T63B ウイルス疾患(<60才)
- T64A その他の、感染症および寄生虫疾患(致死的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- T64B その他の、感染症および寄生虫疾患(致死的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- U40Z 精神健康の治療、同日、with ECT
- U60Z 精神健康の治療、同日、without ECT

- U61A 精神分裂病、with mental status legal status
- U61B 精神分裂病、without mental status legal status
- U62A 妄想症および急性精神疾患(致死的・重症合併症/共存症を伴う場合、または、with mental status legal status)
- U62B 妄想症および急性精神疾患(致死的・重症合併症/共存症を伴わず、without mental status legal status)
- U63A 主要な情動障害(致死的・重症合併症/共存症を伴う場合、または、>69才で致死的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- U63B 主要な情動障害(<70才で致死的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- U64Z その他の情動障害および身体表現性障害
- U65Z 不安障害
- U66Z 摂食および強迫性障害
- U67Z 人格障害および急性反応
- U68Z 小児期精神障害
- V60Z アルコール中毒および離脱症状
- V61A 薬物中毒および離脱症状(合併症/共存症を伴う場合)
- V61B 薬物中毒および離脱症状(合併症/共存症を伴わない場合)
- V62A アルコール利用障害および依存症
- V62B アルコール利用障害および依存症、同日
- V63Z オピオイド利用障害および依存症
- V64Z その他の薬物の利用障害および依存症
- W01Z 多発性外傷に対する、換気または開頭術
- W02Z 多発性外傷に対する、股関節、大腿骨および四肢の処置、移植を含む
- W03Z 多発性外傷に対する、腹部の処置
- W04Z 多発性外傷に対する、その他の手術室での処置
- W60Z 多発性外傷、死亡、または、その他の救急病院への搬送、滞在期間<5日
- W61Z 多発性外傷、処置なし
- X01Z 下肢の傷害に対する、微小血管組織の転移または皮膚グラフト
- X02Z 頭部の傷害に対する、微小血管組織の転移または皮膚グラフト
- X03Z その他の傷害に対する、微少血管組織の転移または皮膚グラフト
- X04A 下肢の傷害に対する、その他の処置(>55才、または、合併症/共存症を伴う場合)
- X04B 下肢の傷害に対する、その他の処置(<60才、または、合併症/共存症を伴わない場合)
- X05Z 頭部に対するその他の処置
- X06A その他の傷害に対する、その他の処置(致死的・重症合併症/共存症を伴う場合)
- X06B その他の傷害に対する、その他の処置(致死的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
- X60A 外傷(>64才、合併症/共存症を伴う)
- X60B 外傷(>64才、合併症/共存症を伴わない)
- X60C 外傷(<65才)
- X61Z アレルギー反応
- X62A 薬物およびその他の物質の中毒/毒性効果(>59才、または、合併症/共存

- 症を伴う場合)
- X62B 薬物およびその他の物質の中毒/毒性効果(<60才、または、合併症/共存症を伴わない場合)
 - X63A 治療の後遺症(致命的・重症合併症/共存症を伴う場合)
 - X63B 治療の後遺症(致命的・重症合併症/共存症を伴わない場合)
 - X64A その他の外傷、中毒、毒性効果の診断(>59才、または、合併症/共存症を伴う場合)
 - X64B その他の外傷、中毒、毒性効果の診断(<60才、または、合併症/共存症を伴わない場合)
 - Y01Z 重症全層熱傷
 - Y02A その他の熱傷、皮膚グラフト使用(>64才、または、致命的・重症合併症/共存症を伴う、または、複雑な診断/処置を伴う場合)
 - Y02B その他の熱傷、皮膚グラフト使用(<65才、致命的・重症合併症/共存症を伴わない、複雑な診断/処置を伴わない場合)
 - Y03Z その他の熱傷に対する、その他の手術室での処置
 - Y60Z 熱傷、その他の救急病院への搬送(<5日)
 - Y61Z 重症熱傷
 - Y62A その他の熱傷(>64才、または、致命的・重症合併症/共存症を伴う、または、複雑な診断/処置を伴う場合)
 - Y62B その他の熱傷(<65才、致命的・重症合併症/共存症を伴わない、複雑な診断/処置を伴わない場合)
 - Z01A 手術室での処置、他の保健サービスとの連携診断(致命的・重症合併症/共存症を伴う)
 - Z02A 手術室での処置、他の保健サービスとの連携診断(致命的・重症合併症/共存症を伴わない)
 - Z40Z 内視鏡による完全治療後のフォローアップ
 - Z60A リハビリテーション(致命的・重症合併症/共存症を伴う)
 - Z60B リハビリテーション(致命的・重症合併症/共存症を伴わない)
 - Z60C リハビリテーション、同日
 - Z61Z 症候、および症状
 - Z62Z 内視鏡以外による完全治療後のフォローアップ
 - Z63A その他のアフターケア(致命的・重症合併症/共存症を伴う)
 - Z63B その他のアフターケア(致命的・重症合併症/共存症を伴わない)
 - Z64A 健康に影響するその他の因子(>79才)
 - Z64B 健康に影響するその他の因子(<80才)
 - Z65Z 多発性、その他の、および、非特異的先天性奇形

DRG Short Name

(前記内容の省略形)

クリニカルパス：合併症のない急性心筋梗塞症

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目(早期退院なら4日目)
アウトカム	血行動態的に安定 治療 <input type="checkbox"/> tPA <input type="checkbox"/> SK <input type="checkbox"/> PTCA 胸痛への対処と記録 退院予定の計画	血行動態的に安定 入院中検査予約 → 一般病床へ転棟	血行動態的に安定 胸痛なし	血行動態的に安定 胸痛なし	血行動態的に安定 胸痛なし
臨床試験					
対診 日付と仁シヤル記載 検査	心臓リハビリ 予約と決定/サイン CPK:発症後6,12,18時間 MB-CK:CPK上昇時初回のみ コレステロール FBE, U&E, RBG, aPTT必要時	リ-シヤルワーカー/ OT(作業療法)/ CPK:24時間後 検査予定 +/- 心エコー +/- CAG +/- 心筋シンジ	栄養士指導 対診継続	薬剤士指導 退院後指導	
治療	心電図12, 24時間後 ECGモニター 静脈路確保 アスピリン β 遮断薬 → +/-抗凝固薬 インスリン <input type="checkbox"/> BSL>11なら持続注 <input type="checkbox"/> スライディングスケール RIB/SOOB(ベッド上安静) ポータブル便器	心電図 モニター中止 静脈路除去 → ?ACE阻害薬 ?スタチン薬 介助でハスルームまで歩行	心電図	心電図(カードヘコピー)	
2型糖尿病に対して Digami7プロコール					アスピリン β 遮断薬 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ +/-ACE阻害薬 +/-スタチン薬
安静度					制限なし
退院計画	4日/5日目退院 紹介医確認 援助システムの確認 対診確定とファックス 退院予定の告示 心臓と冠動脈の説明 教育用パンフレット	CCU退室 サイン/ 動脈硬化と血栓形成 治療過程の説明 サイン: モニター/静脈路使用 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいい Stepdown	病棟内歩行 (4日目退院例) 退院処方 心臓リハビリ予約 Cardio-card確認 搬送予約 冠危険因子 Anginineの使用 サイン: サイン:	制限なし 退院処方 心臓リハビリ予約 Cardio-card確認 搬送予約 以下のことを指導 1. コレステロール値 2. 薬物の作用と副作用 3. 退院後の予定 <input type="checkbox"/> 紹介医 <input type="checkbox"/> 外来 サイン:	退院薬受け取り 紹介医への手紙/Fax 外来予約 8時退院 4日目/5日目
教育					
ヴァリアンス					
日付					
実施者サイン					
実施者サイン					
実施者サイン					

このパスはあくまでもガイドラインであり、個々の患者の必要性により可変、記録を追加するにはClinical Notesを使用すること。
(国立循環器病センター：野ノ木 宏氏訳)

医療の質の評価に関する具体的な手法

分担研究者 難波 吉雄

東京大学医学部老年病内科講師

研究協力者 矢野 周作

国立循環器センター運営部長

1. はじめに

アメリカ、ドイツ、オーストラリアが用いている医療の質の測定指標の調査研究によれば、アメリカではDRG(診断群)別のコスト、平均在院日数に加えて、手術件数、死亡率(粗死亡率、予測死亡率、訂正死亡率)、院内感染症発生率、再入院率、転倒・転落などが用いられており、一方ドイツでは外科手術等で入院時、手術時、退院時の各時点で詳細な患者要約票が作成され、これらは一ヶ所に集められて評価されている。またオーストラリアでは重症度分類を伴ったDRG毎のデータが全国の病院から一ヶ所に集められ、DRG毎の患者数、平均在院日数、コストが公表されている。しかしながら国立病院の政策医療ネットワークに参加している医療機関の現状を考慮すると、上記三ヶ国のようなことを直ちにできる状況にないため、現時点においてどのような医療の質の指標を用いればよいのか、そのための基盤整備をどのようにすすめていけばよいのかといった医療の質の評価に関する具体的な手法を以下の通り考察してみた。

2. 医療の質の評価に関する具体的な手法

(1) 目的

医療の質が向上していくためには、多くの国々で行われている各病院毎のコストを含めたアウトカムを比較評価していく手法が最適である。このため、循環器病に関する重症度分類を伴った共通の疾病分類を作成し、当該分類に基づき循環器病政策医療ネットワーク各施設の診療内容・診療報酬等を比較分析することにより、循環器病診療における医療の標準化と質の向上を図る。

(2) 対象疾病

循環器病全般とするが、小児の循環器病、特に先天性疾患についても対象疾病に入れるべきである。

(3) 参加病院

循環器病政策医療ネットワークを構成する国立病院のすべてとするが、当面はICD10に基づく病名記載や退院時に患者の症状をまとめて記載する退院時要約票などの基盤が整っているか、またはこれらの基盤が容易に整う環境にある施設に

限定してスタートすべきである。

(4) 病名の記載

現在の国際標準となっている ICD10 による病名記載を行うこととするが、この場合複数の病名がある場合は主病名、副病名、併存症、合併症に分ける必要が生じてくるので、このための何らかのルールの設定が必要である。

(5) 重症度分類を伴った疾病分類

複数の病院を比較していく場合、同じ疾病であっても軽症患者が多い病院や逆に重症の患者が多く集まる病院があるので、重症度の評価を伴った疾病分類の作成が不可欠である。しかし、重症度の評価を行うには膨大なデータを必要とするため、当面は ICD10 の小分類又は日本版 DRG 等を用いた評価を行いながら適切な重症度分類を開発していくべきである。また各国の疾病分類をみても医療資源の消費量に配慮した疾病分類になっていることも考慮すべきである。

(6) 医療の質の評価指標

他の分担研究者が実施した調査研究では、アメリカ等における医療の質の評価指標はいろいろあるが、これらのうち特に考慮すべきものとしては以下のものがある。

① 量的な指標

- 主要な手術に対する年間あたり手術件数
- 主要なカテーテル手術に対する年間あたりカテーテルインターベンション件数

② 死亡に関する指標

- 主要な疾病に対する年間あたり入院死亡率
- 主要な手術に対する年間あたり入院死亡率

③ 在院日数に関する指標

- 疾病毎の平均在院日数
- 主要な手術に対する手術日から退院までの日数
- 主要なカテーテルインターベンションに対する手技日から退院までの日数

④ 感染症に関する指標

1. 病棟別感染症発症率
2. 主要な手術創に対する感染症発生率

⑤ 予定していない再入院に関する指標

- 主要な疾病に対する予定していない再入院率
- 主要な手術における予定していない再入院率

⑥ 治療に要した治療

- 重症度を伴った診断群別治療費

以上のような評価指標を組み合わせて用いれば、それぞれの病院の全体における位置づけがわかるとともに、それぞれの病院の得意、不得意を把握することができるものと思われる。

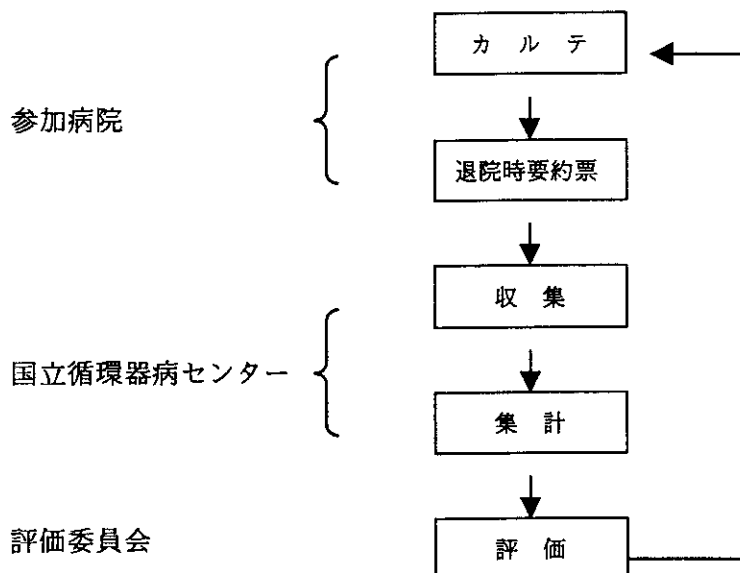
(7) 退院時要約票

参加病院が同じ指標を用いて医療の質の評価活動を行っていくためには、統一した病名や手術名等を同じ調査票の中で記載する必要があるため、共通して用いることができる退院時要約票を作成しなければならないが、このような要約票は既に国内ばかりでなく、国外においてもよいサンプルが存在している。このため、既存のサンプルを参考にしながら関係者による合意のもとで適切な要約票の作成が望まれるところである。

(8) 医療の質に関する活動の流れ、

これまでの流れを整理すると以下のようなになる。

図1. 医療の質に関する活動の流れ



(9) 本事業の年次計画

医療の質を複数の病院で評価するという事業は、我が国ではこれまであまり行われてこなかった領域でありこの理由としてあげられるのは、病院間での比較を容易にするために必要な病名や治療方法などの統一化が遅れてきたためであるので、国

立病院の政策医療ネットワークにおいてこのような事業を行うためにはそのための基盤の整備が必要であることから、三ヶ年計画で進めていくことが重要である。以下にその年次計画を示す。

表 1. 年次計画

年次	事業内容
初年度	1. 基盤整備 (1) 退院時要約票 (2) 疾病別重症度分類 (3) 評価指標 2. 参加病院と国立循環器病センターとのシステム整備 (図 1 参照) 3. 医療の質に関する評価活動の試行
2 年度	1. 医療の質に関する評価活動の実施 2. 参加病院別の医療の質の測定
3 年度	1. 測定された医療の質に基づく参加病院別の比較分析 2. 参加病院別の評価と改善

病院間で表 2 のような表が作成されれば医療の質の測定に関する病院間の比較が容易にできることになるが、しかし、重症度の欄については、どのような基準で重症、中等症、軽症の三区分に分けるのかについて、現在の我が国においては統一的な考え方が整理されていない。このため重症度分類に関する各国の調査を行いこの中から適切なものを選択し、これを収集されたデータを用いて検証していく作業などが必要になってくると思われる。

- (10) 具体的な医療の質の評価例
 以上のことをまとめてみて以下の表に整理することができる。

表2. 疾病別医療の質の評価

疾病	治療行為	重症度	患者数	平均在院日数	平均医療費	入院死亡数	予定していない再入院数	感染症発生数	合併症発生数	その他	
A	手術	重症									
		中等									
		軽症									
	カテーテル治療	重症									
		中等									
		軽症									
	内科治療	重症									
		中等									
		軽症									
B											